

平成31年度 大野市教育方針(案)

大野市の将来像「ひかりかがやき、たくましく、心ふれあうまち 越前おおの」の実現のため、大野市教育理念に基づき、ふるさと大野の先人が培ってきた結の心と未来を切り拓く進取の気象を持つ、優しく、賢く、たくましい大野人を育てることに努めます。

資料2

教育理念		基本施策と具体的な施策 (教育に関する大綱)	本年度に重点的に取り組む事業	成果指標等 (●は第五次総合計画成果指標)	合言葉
明倫の心を重んじ 育てよう 大野人		◆地域の特性を生かし、ふるさとに根ざした特色ある学校づくり ◆楽しく、生きがいのあふれる生涯学習の推進 ◆ふるさとに誇りと愛着を持ち、結の心を育む家庭の教育力、地域の教育力の充実 ◆心豊かでたくましく生きる力を持つ青少年の育成 ◆国際化・情報化社会に対応できる人づくり ◆小中学校の適正規模化	○学力の向上と安心して通える魅力ある学校づくりの推進 ・基礎力の充実と主体的・対話的で深い学びを追求する教育を推進し、思考力、判断力、表現力を育て、確かな学力の向上を図る。 ・福井県学力調査や全国学力学習状況調査の結果を分析し、指導方法を改善するとともに、教員一人一人の指導力の向上を図る。 ・意識調査を活用しながら、すべての子ども達に自尊感情を育む安心して通える学校づくりを推進する。 ・24時間対応のメール相談、スクールソーシャルワーカーによる児童生徒をとりまく環境改善、臨床心理士による教育相談を実施して、いじめ・不登校の未然防止と早期発見・事案対処に努める。 ・児童虐待の未然防止や早期発見等、学校における適切な対応を図るため、関係機関との連携を強化する。 ・結の故郷教育支援員や教育相談員、非常勤講師を配置し、児童・生徒へのきめ細やかな支援や指導の充実を図る。 ・就学前教育から高等学校教育までのそれぞれの接続が円滑に行われるよう、子どもの交流や教職員の交流等を推進する。 ・大野市図書館の「新こねずみ文庫」の貸出活動や、県の「選定図書学校巡回事業」等を活用して、本に親しむ子どもを育てる。 ○ふるさとを知り、ふるさとを創る学習の充実 ・小学校4、5、6年生で、「大野の宝先人に学ぶ」や「わたしたちの結の故郷」を活用し、結の心を育てる。 ・中学校1、3年生を中心に「結の故郷中学生みこしダンスパフォーマンス」を開催し、ふるさとへの誇りと愛着を育てる。 ○特別支援教育・幼小接続の推進 ・一人一人の教育的ニーズに応えるため、個別の支援・指導計画をもとにした特別支援教育を推進する。 ・関係機関との連携を深め、幼児期から小学校への発達と学びをつなぐスタートカリキュラムの充実を図る。 ○健やかな体の育成 ・全国体力・運動能力、運動習慣等の調査を活用し、体育授業やアクティブファン活動等を通して、児童生徒の体力の向上を図る。(短距離走やボール投げを重点種目とする。) ・農業体験や味覚を学ぶ授業、地産産学校給食等を通して、食育を推進する。 ○キャリア教育の推進 ・小学校6年生で一日保育体験を実施し、働くことの意義と喜びを体感させるとともに、命を大切にす心や自分の成長を支えてくれた人への感謝の気持ちを育てる。 ・中学校において、職場体験学習やさまざまな職業の人たちの体験談を聞くことを通して、働くことの意義や大切さを理解させるとともに、望ましい職業観を育てる。 ○国際化・情報化社会に対応できる人づくり ・小学校にALTを3名配置し、ティームティーチングによる授業づくりを進め、先行実施している外国語教育の充実を図る。 ・小中学校で電子黒板やタブレット端末の活用を推進し、児童、生徒の学力を高める授業づくりに努める。 ○学校教育環境の整備 ・教職員の学校業務改善を図り、働き方改革を推進する。 ・校舎等の修繕や管理備品等の整備を効率的及び計画的に進め、教育環境の充実を図る。 ・結の故郷奨学金制度により、保護者の経済的負担を軽減するとともに、若者のふるさと大野への帰郷を促進する。 ・より良い教育環境の整備に向けて、地域住民や保護者等に意見を聞きながら、小中学校の再編を検討する。	●「将来の夢や目標を持っている」小学校6年生、中学校3年生の割合 小学校【30実績：91%】 【31目標：上回る】 中学校【30実績：90%】 【31目標：上回る】 ○全国学力・学習状況調査の市平均値と県平均値の比較 小学校【30実績：下回った】 【31目標：上回る】 中学校【30実績：同等】 【31目標：上回る】 ○全国体力・運動能力運動習慣等調査の体力合計点(市平均値と全国平均値の比較) 小学校【30実績：上回った】 【31目標：上回る】 中学校【30実績：上回った】 【31目標：上回る】 ○「学校が楽しい」と答えている小学生、中学生の割合 小学校【30実績：62%】 【31目標：70%】 中学校【30実績：54%】 【31目標：70%】 ○不登校児童生徒数および1,000人あたりの不登校児童生徒数 小学校【30実績：5人、1000人あたり3.4人】 【31目標：下回る】 中学校【30実績：22人、1000人あたり27.0人】 【31目標：下回る】 ○いじめの認知件数と解消率 認知件数 小学校【30実績：9件】 【31目標：上回る】 中学校【30実績：6件】 【31目標：上回る】 解消率 小学校【30実績：89%】 【31目標：100%】 中学校【30実績：17%】 【31目標：100%】 ○地域行事への参加率 小学校【30実績：82%】 【31目標：85%】 中学校【30実績：53%】 【31目標：65%】 ●ICT機器の利用率 小学校5・6年【30実績：89%】 【31目標：90%以上】 中学校5教科【30実績：72%】 【31目標：80%以上】 ○奨学金の利用者で当該年度に卒業したもののうち帰郷した割合 【30実績：79%】 【31目標：40%】	「行う人」も「見る人」も「支える人」もみんなが主役
		◆豊かな心を育てる文化を育む 文化施設の整備と充実	○生涯学習の推進 ・生涯学習センターや公民館、図書館等で行う講座や教室等を創意工夫し、いつでも、どこでも、だれもが、いつまでも学べる学習環境を整備するとともに、多くの市民が参加できるような情報の提供に努める。 ・ふるさと大野今昔物語事業において大野の歴史・文化・伝統が記録された写真を活用した「むかし語り」を実施したり、「昭和のこどもたち」のパネルを展示したりして、ふるさと大野を大切に思う心と結の心を育てる。 ・人権に関し、市民一人ひとりが正しい知識を持ち、人権尊重の意識を高めるための学習や啓発活動を実施する。 ○地域を担う人材養成 ・青少年健全育成大野市民会議に参画する団体と協力し、小中学校区の活動や研修会、啓発手紙、推進大会の実施等を通して、青少年健全育成活動の推進を図る。 ・中高生のジュニアリーダー活動を通じ、子どもたちのリーダー的な役割を担う人材を育成する。 ・大野へかえろう事業において、大野ポスター展で制作されたポスターや、楽曲、写真集を活用し、大野の魅力の気付きと故郷を愛する心を醸成する。 ・青年活動事業において、地域活動を担う市内青年グループの発掘と育成を図るとともに、青年活動の活性化を通して、若者の自然な出会いや交流を促進する。 ・成人式事業を実施し、成人を祝い、成人としての自覚を促すとともに、実行委員会の企画を通してふるさと大野を見つめ直す機会をつくり、相互の交流を図る。 ○家庭教育力、地域教育力の向上 ・「結の故郷ふるさと教育推進計画」に基づき、小学生対象の「ふるさと芸術発表会」、公民館が行う「人づくり学習事業」、小学6年生対象の「わたしたちのふるさとをめぐるツアー」、ジュニアリーダー活動や子ども会活動の少年教育を通して、地域教育力の向上を図る。 ・「結の故郷ふるさと教育推進計画」に基づき、子育てに関する学習や親子のふれあい講座を通して、家庭教育力の向上を図る。 ・「第三次大野市子ども読書活動推進計画」に基づき、関係機関と連携して家庭での子どもの読書環境を整える支援を行う。また、図書館資料を利用する学習会を定期的に開催するほか、公民館と連携した貸出サービスを実施し、赤ちゃんから高齢者まで各年代に応じた図書館サービスの提供に努める。 ・放課後子ども教室において、子どもの安全で安心な居場所を確保するとともに、地域住民との交流事業を通して「地域の子どもは地域で育てる」意識の向上を図る。 ○世代間交流の充実 ・世代間交流事業を実施し、昔遊びや昔話、農業体験等、人々が持つ技能や知識を学びあう体験を通して、人間性豊かな大野人の育成に努める。 ○国際感覚のある人づくり ・講座や教室、ジュニアリーダー活動、放課後子ども教室等で、英会話教室や国際理解を深める事業を行い、国際感覚を養う。	○生涯学習講座延べ受講者数 【30実績：8,158人】 【31目標：9,000人】 ●公民館で開催する講座や教室の延べ受講者数 【30実績：22,461人】 【31目標：30,000人】 ○ふるさと大野今昔物語「むかし語り」活動回数 【30実績：47回】 【31目標：70回】 ●図書館の延べ来館者数 【30実績：86,123人】 【31目標：100,000人】 ●公民館や生涯学習センターでの国際交流講座開催数 【30実績：40回】 【31目標：50回】	
市長部局との連携強化 ○「総合教育会議」 ○小中学校再編計画 ○文化会館の整備 ○自然遺産の保護と活用 ○スポーツツーリズムの推進 ○健康のまちづくり ○人権尊重社会の実現 ○子ども子育て支援事業 ○男女共同参画社会の推進 ○食育に関する事業 ○公共施設の再編 ○働き方改革の推進 ○児童虐待の防止対策 など		◆市民の誰もがスポーツに親しむ生涯スポーツの推進 ◆福井しあわせ元気国体に向けた競技力の向上と市民スポーツの振興 ◆スポーツに親しむ環境の充実	○文化的遺産の保存と活用 ・文化財保存活用地域計画策定に向け、郷土に伝わる文化財の保存や管理状況を調査し、情報収集と整理作業を実施する。 ・重要文化財旧橋本家の適切な維持及び美観の保持に努めるとともに、国重要文化財への市民の理解と関心を高める。 ・大野市史や奥越史料などに掲載の史料を活用した講座等を行い、文化的遺産への市民の関心と興味を高める。 ○伝統文化の伝承と普及 ・結の故郷伝統文化伝承条例に基づき、「おおの遺産」を認証し、地域に受け継がれてきた伝統芸能の伝承や景観の保全等に努める。 ○自然遺産の保護と活用 ・福井県立恐竜博物館と協力して、化石及び産出地の保護や調査研究を行うとともに、企画展開催やアンモナイト図録を生涯学習や学校教育に活用する。 ・淡水型イトヨ生息地の保護保全に努める。 ○文化芸術の触れ合いと地域の文化芸術資源の活用 ・「COCONOアートブレイス」を市民の文化芸術の交流拠点と位置付け、市民所有の価値ある絵画の活用や、ゆかりのある芸術家の企画展やワークショップなどを実施するとともに、気軽に立ち寄れる観光施設を目指した運営を行う。 ・第40回大野市美術展において、記念事業を開催し、市民に美術体験の機会を提供する。 ・落語会や映画上映会など優れた文化芸術に触れる機会を提供する。また、市民団体が行う文化芸術活動に対する支援について積極的に情報発信に努め、活用を促進する。 ・越前大野感性はがき展事業を観光推進事業と連携して実施し、豊かな自然を大切にす心年全国に発信する。 ○文化会館の整備 ・文化会館整備基本計画を基に基本設計を実施し、文化芸術振興の拠点施設の整備に取り組む。併せて、新文化会館の運営について委員会を設置し検討を行う。 ○文化施設の適切な維持管理 ・市指定文化財である民俗資料館の保存活用計画に基づき、移築事業を進める。 ・歴史博物館や武家屋敷等が連携して博物館をめぐる事業を実施し、来館者の満足度を高める施設運営を図る。	●指定等文化財件数(国・県・市)(累計) 【30実績：142件】 【31目標：143件】 ○結の故郷伝統文化「おおの遺産」の認証(累計) 【30実績：14件】 【31目標：19件】 ●市が支援する音楽会や演劇等の文化公演等の実施回数 【30実績：7回】 【31目標：16回】 ○大野市美術展の来場者数 【30実績：1,606人】 【31目標：2,000人】 ○COCONOアートブレイス年間来館者数 【30実績：23,581人】 【31目標：30,000人】 ○名水マラソン参加者数 【30実績：4,520人】 【31目標：5,000人】 ●みんなでスポーツ参加者数 【30実績：1,627人】 【31目標：2,500人】 ○B&G施設利用者数 【30実績：33,892人】 【31目標：38,000人】 ●スポーツ施設利用者数 【30実績：224,704人】 【31目標：300,000人】	